

字幕付き映画における韓日の言いさし表現の対応関係 — 「述部有り」の言いさし表現を中心として—

曹 英南

要 旨

本稿は字幕付きの韓日の映画から音声と字幕による言いさし表現をデータとして、述部がある韓日の言いさし表現が両言語でどのように対応しているのかを探り、両言語における言いさし表現の特徴を探ることを目的とした。その結果、韓日において三つの対訳パターンの中で二つの対訳パターンに同様の傾向が見られた。このことから、先行知見通り、両言語にはかなり類似している言いさし表現が多く含まれていると考えられる。さらに一つの対訳パターンにおいては、日本語では、言いさし表現の方が好んで使われているという傾向が見られたことから、韓国人にははっきりと直裁的な言い方が好まれ、日本人には婉曲、間接的な言い方が好まれているという言語観が反映されていると考えられる。

【キーワード】 言いさし表現・韓国語・日本語・対応・映画

1. はじめに

日本語の話しことばの特徴とも言われる言いさし表現、すなわち「けど」「から」「ので」「て」「し」などで終わる発話は日本語学習者にとってその習得が難しいと指摘されている（生駒・志村 1993:47、柏崎 1993:62）。このような表現を正しく使えないと、習得が進む学習者であればあるほど、誤解を受けやすく、そのため実質的情報内容の伝達と関わっている話し方より言いさし表現のような心的態度を表すような話し方に悩まされることが多い。近年、日本語母語話者による日本語の言いさし表現の使い方、また日本語学習者として大きな比重を占めている韓国語母語話者による韓国語の言いさし表現の使い方にも研究が待たれているのが実状である。

本稿では「述部有り」の韓日の言いさし表現全般を取り上げ、対応関係を調べ、その特徴を捉えたい。

2. 先行研究

言いさし表現の対照研究としては、日本語の言いさし表現が韓国語、英語、中国語においてどのように対応されているのか、対応の仕方を探った研究がある。日本語の接続助詞「-が」で終わる発話と韓国語の「-ㄷ」で終わる発話の比較(渡辺・鈴木:1981、梅田:1977)、言いさし表現全般の日本語と韓国語の比較(曹:2002)、日本語の「-けど」で終わる発話と英語の「-though」で終わる発話の比較(水谷:1989)、日本語の「-から、ので類」「-けど、が類」の英語への対応の仕方(水谷:2001)、日本語の「私も」「全然」で終わる発話が中国語ではどのように訳されるか、中国語との比較(金田一:1988)が行われている。

言いさし表現も言語によってその捉え方が異なるため、日本語の話し言葉の特徴を明らかにすることを目指して、韓国語、英語、中国語との対照を試みたこのような研究は先駆的であると言えよう。しかし言いさし表現の一部を対象にしていくつかの例文を使って考察するものがほとんどであることから、言いさし表現全般を取り上げ、これらの指摘を検証する必要がある。

韓国語と比較をした渡辺・鈴木(1981:101-101)では以下の例 1)と例 2)のように日本語の接続助詞「-が」で終わる発話は韓国語の「-ㄷ」で訳され、日本語の「-が」と同様に文末をにごしており、用法も類似しているという。以下、その例を挙げる。

(1)人が訪ねてきたが、ちょうどその人が会いたがっている人が留守であった場合

韓国語:「지금 나가시고 안 계신데요」

日本語:「今出かけて、いらっしやいせんが」

(2)ちょっと会ってほしいと言われたが、相手の要求に応じられない場合

韓国語:「좀 갈 곳이 있는데요」

日本語:「ちょっと行くところがありますが」

上記の言いさし表現は韓国語との比較においては相互に類似していると結論づけられているが、言いさし表現の一部しか取り上げられていないため、それらを実証的に検証する必要がある。

言いさし表現全般を日本語と韓国語で比較をした曹(2002)では字幕付きの韓日映画をデータとして、対訳パターンの傾向と談話機能との関わりについて分析を行っている。結果は全体的に日本語の言いさし表現が韓国語では言い切り表現に対訳される傾向が強いことが明らかになっているが、機能によってはそのまま言いさし表現に対訳される傾向が強い場合も見られた。このような結果は言いさし表現の形が様々であり、

種類別に分類すると、使用実態の結果もより具体的になることが示唆されている。本稿ではこのような点に着目して言いさし表現を形によって分類して、分析を行う。

3. 研究目的

字幕付きの韓日の映画から音声と字幕による言いさし表現をデータとして、「述部有り」の韓日の言いさし表現が両言語でどのように対応しているのかを探り、両言語における言いさし表現の特徴を明らかにする。

4. 研究方法

4.1 言いさし表現の定義

本研究における言いさし表現の定義は以下の二つを満たす発話である。

1. 形の上で、文を最後まで言わずに途中で終わっている発話である。
2. 相手の割り込みではなく、話者の意志により完結している発話である。

言いさし表現は次の言葉をつなげる役割をもっている形式で終わるものである。もちろん「形として単語一語であるものを、単なる語的概念の表示たることを超えて、文としての内容を表示するに至った」という一語文という考え方(尾上 2001:200)もあるが、本稿では文の形態に焦点をあて、文の途中であってまだ文が続くような形式で終わっているものを言いさし表現の分析対象とする。

言いさし表現を述部の有無により「述部有り」と「述部無し」の二種類に分類できる。例えば、「全然」や「あなたは?」のような述部が存在しないものがある。また「あ、金ですけども」のように述部が存在しているものがある。後者は、述部を言い切りにせず接続助詞を添えたものとも考えることもできる。このように述部の有無により言いさし表現を二種類に分類することができる。本稿では「述部有り」の言いさし表現を対象として分析を進める。以下、その具体的な例を示す。

【韓国語の例】: 「-한잔 하자구(訳:一杯やろうって)」「-연락 못해석(訳:連絡できなくて)」「-해 본적이 없는데(訳:したことがないんだけど)」

「-가라니까(訳:行けてば)」「-끝내고 나면(訳:終わってから)」

「-사랑하는 사람이 원한대두?(訳:愛している人が頼んでも?)」

【日本語の例】: 「-と思まして」「-飲み会あるんだけど」「-これ、よかったら」

「-つかめなくてね」「-少なくなっていますし」「-進めろと」「-見たんで」

但し、(1)倒置、(2)独り言、(3)相手の発話の一部あるいは全部をそのまま繰り返す形、(4)言いさし表現とも言い切り表現とも取れる発話は本研究の分析対象外とする。以下、各々具体的な例を示す。

(1)倒置

1)キチョル:자.(訳:どうぞ)

스ヒョン:안그래도 하나 살려고 그랬는데. 지난번에 고쳐준데가 자꾸

망가져서. (訳:じゃなくても一つ買おうと思ったけど。この間直してくれたところがたびたび壊れちゃって。) (接続)

キチョルは友達であるスヒョンにキーホルダをプレゼントする。スヒョンは、「じゃなくても一つ買おうと思った」と言い、その理由を「지난번에 고쳐준데가 자꾸 망가져서」(訳:この間直してくれたところがよく壊れちゃって)と言いさし表現で補足している。このように前の発話を補足するような倒置的な発話は本研究の分析対象外とする。

(2)独り言

2)署長:남은거 얻어온거야(訳:余ったものもらってきた)

스미레:제것도 얻어오지 그랬어요. 밥먹고 싶은데

(訳:あたしのももらってくればよかったのに、ごはん食べたいんだけど) (踊る大捜査線の字幕)

捜査本部からもらってきたお弁当を食べている署長を見て、スミレは「自分のももらってくればよかったのに」という意味の「제것도 얻어오지 그랬어요」と不平を漏らしてから、独り言で「밥먹고 싶은데」と小さい声で言う。本研究では相手に向けて発した言いさし表現を対象とし、独り言のような発話は分析対象から外す。

(3)相手の発話の一部あるいは全部をそのまま繰り返す形

3) 探偵:ご主人にそれとなくお尋ねになったことは?

쇼우코:ええ、何度かそうしようかと思ったんですけど。

探偵:思ったんだけど?

(Shall we ダンス?)

主人の浮気を疑っているショウコは探偵に相談する。探偵の「ご主人にお尋ねになったことは?」という質問に対して、ショウコは「何度かそうしようかと思ったんですけど」と言い、間を置いたら、探偵はショウコの言葉を繰

り返す形「思ったんだけど」を使い、黙っているショウコにどうしてそうしなかったかを話すよう促している。本稿では相手の発話をそのまま繰り返す形はあいつち的発話と見なし、実質的発話だけを分析対象とする。

(4) 言いさし表現とも言い切り表現とも取れる発話

4) アオシマ: マシタは?

ユキノ: こっち。 (踊る大捜査線)

ユキノはアオシマからマシタさんがどこにいるのか聞かれ、「こっち」という。この「こっち」は「こっちにいる」とも取れ、「一にいる」をつなげることでもできるが、「こっちだ」とも取れ、ただの「だ」の省略とも取れる。そのため、本稿ではこのような発話は分析対象外とし、文脈上ははっきりした言いさし表現と判断される発話のみを分析対象とする。

4.2 分析資料

韓国で公開された日本映画 5 本と日本で公開された韓国映画 5 本、すなわち両言語の字幕付きの映画 10 本を使用する。日本映画が約 9 時間、韓国映画が約 9 時間で、計 18 時間の映画資料である。映画の題目と制作された年度と時間は以下の表 1 の通りである。

表 1: 映画資料の内訳

韓国語字幕付きの日本映画	日本語字幕付きの韓国映画
Love Letter (1995 年作、114 分)	接続 (1997 年作、107 分)
Shall we ダンス? (1996 年作、136 分)	8 月のクリスマス (1998 年作、97 分)
四月物語 (1998 年作、67 分)	ペーパーミントキャンディ (2000 年作、129 分)
踊る大捜査線 (1998 年作、120 分)	シュリ (1999 年作、118 分)
うなぎ (1997 年作、116 分)	美術館の隣の動物園 (1999 年作、108 分)
合計: 553 分(約 9 時間)	合計: 559 分(約 9 時間)

字幕付きの映画を選定した理由には次のような経緯がある。異言語間の話し言葉の対訳資料を考えた際、話し言葉の特徴の一つである音声に伴っていることを優先的な基準とした。小説の中の会話文、マンガの会話文も資料として考えられたが、音声を伴わない読み物として想定して作られたものであるため、典型的な話し言葉の特徴から離れている印象を受けた。典型的な話し言葉の特徴に関して岡崎・岡崎(2001:55-61)ではバイゲイト(Bygate1998:21)の話し言葉の特徴を詳しく検討する形で、同じ内容を研究用ノート(論文)の書き言葉にした場合と同僚同士の日常会話場面に持ち出した場合を比較しながら、話し言葉の特徴を明らかにしている。その中では a.文形式、b.会話当事者間のやりとり、c.音声面について言及されている。小説の会話文とマンガの会話文は読み物として想定されたため、音声を伴って実際に行われた会話に比べ、上記の(1)文形式、(2)会話当事者間のやりとり、(3)音声面においてその特徴が薄れていると思われる。特に本稿で対象とする言いさし表現はイントネーションにより言いさし表現であることをマーカーにしたり、聞き手との協力により言いさし表現のような文形式も生まれているため、現実の場面と近い空間と時間の制約の中で行われる音声を伴った会話資料が必要であった。そのため、韓日両国において音声を伴った資料として比較的入手しやすく、一般に公開されている字幕付きの映画を対訳資料として選定するに至った。字幕付きの映画資料には音声言語と字幕という文字言語があり、特に字幕言語は文字数の制限などの問題点も残されており、音声言語と同一視できず、別物であるという考え方もある。しかし現実には映画を鑑賞する者は音声の対訳として字幕を頼りに話の筋を理解したり、感動を覚えたりしているため、言語手段の一つであることは確かである。本稿では一方の言語の字幕を使用するのではなく、韓日両言語の字幕を使用する。そのため対照の際の共通性は保たれていると言える。

4.3 分析方法

音声と字幕にある韓日の言いさし表現が相互にどのように対訳されているか、その対訳パターンを明らかにする⁽¹⁾。すなわち、音声の言いさし表現がそのまま字幕でも言いさし表現に対訳されているか、あるいは言い切り表現⁽²⁾に対訳されているか、その対訳パターンを分析する。但し、音声の言いさし表現が字幕でも言いさし表現に対訳されている場合は言いさし表現の種類が同様な場合、すなわち「述部有りの言いさし→述部有りの言いさし」を分析対象とする。例えば以下のような場合である。

5)ヨンホ:위카에..위카에 물이 차서요.

くつに、くつに水が入って。

(ペーパーミントキャンディ)

韓国語の下線の「위카에..위카에 물이 차서요」は「述部有り」の言いさし表現であり、それに対する日本語の対訳も「くつに、くつに水が入って」で「述部有り」の言いさし表現である。

一方、言いさしの種類が異なっている場合、すなわち「述部有りの言いさし→述部無し of 言いさし」あるいは「述部無しの言いさし→述部有りの言いさし」のパターンがある。例えば以下のような例である。

6)パクムヨン:허가증과 신분증을 제시하라고 했을텐데요.

許可証と身分証を。

(シュリ)

韓国語の下線は「허가증과 신분증을 제시하라고 했을텐데요」(訳:許可証と身分証を提示するようにと言ったんだけど)で「述部有り」の言いさし表現であるが、日本語の対訳は「許可証と身分証を」で「述部無し」の言いさし表現である。

上記のように言いさし表現の種類が異なっている場合は韓国映画では 2.9%(言いさし表現の対訳パターン 513 回の中で 15 回)、日本映画では 1.0%(言いさし表現の対訳パターン 498 回の中で 5 回)であり、非常に低い頻度で出現した。またこのようなパターンは上記の例 6)のように字数の制限を意識したのか、対訳が最小限にとどまっていると見られる。すなわち、例 6)の「허가증과 신분증을 제시하라고 했을텐데요」の対訳字幕は「許可証と身分証を」であり、述部である「제시하라고 했을텐데요」(訳:提示するようにと言ったんですけど)が訳されていない。このように字幕において字数制限を意識したため言いさし表現の種類が異なると考えられる場合は分析から外す。そのため、対訳パターンを分析する際は言いさし表現の種類が同様である場合、すなわち「述部有り→述部有り」を分析対象とする。

4.4 分析対象の言いさし表現

韓国映画と日本映画において音声の部分と字幕の部分で出現した「述部有り」の言いさし表現の頻度を以下の表 2 に示す。

表 2: 「述部有り」の出現頻度

述部有り	韓国映画	日本映画
音声	(韓音声)123 発話	(日音声)220 発話
字幕	(日字幕)118 発話	(韓字幕)168 発話
合計	241 発話	388 発話

「述部有り」の言いさし表現は韓国映画において韓国語音声 が 123 発話、日本語字幕が 118 発話であり、合計 241 発話 が出現した。日本映画においては日本語音声 が 220 発話、韓国語字幕が 168 発話であり、合計 388 発話 が出現した。以上のように「述部有り」の言いさし表現は韓国映画で 241 発話、日本映画で 388 発話、合計 629 発話であり、これを本稿の分析対象とする。

5. 結果及び考察

5.1 対訳パターンの種類

「述部有り」の言いさし表現は韓国映画と日本映画において各々三つのパターンが見られた。まず、韓国映画における対訳パターンと具体的な例は以下の通りである。

(1) 「韓国語音声の言いさし表現→日本語字幕の言いさし表現」

7) ジョンウン: 할머니, 저 사진 아직 안 나왔는데요.

おばあさん、写真まだですが。

おばあさん: 아이고, 저 낮에 찍은 사진.

あの、昼間撮った写真、あれ。

(8月のクリスマス)

写真屋に昼間来た客である年寄りが訪ねてきた場面である。写真屋のジョンウンはまだ写真ができていないため、「할머니, 저 사진 아직 안 나왔는데요」(訳:おばあさん、あのー、写真まだですが)と言いさし表現を使って反応をうかがっている。日本語の対訳も「おばあさん、写真まだですが」と言いさし表現になっている。

(2) 「韓国語音声の言いさし表現→日本語字幕の言い切り表現」

8) 同僚: 어제 방송 좋던데.

昨夜のよかったぞ。

ドンヒョン:(笑い)

(接続)

同僚はラジオのPDを担当しているドンヒョンに「어제 방송 좋던데」(訳: 昨日の放送よかったけど)と言いさし表現を使って番組の感想を伝える。日本語の対訳は「昨夜のよかったぞ」と言い切り表現になっている。

(3)「韓国語音声の言い切り表現→日本語字幕の言いさし表現」

9)息子: 어머니 사진관에 오셨으니까 독사진 하나 찍으세요.

母さん、せっかくだから一人で撮ったら?

母: 뭘 천천히 찍지.

後でまた撮るから今日は帰るよ。

(8月のクリスマス)

写真屋で家族写真を撮った後、息子が年寄りの母に写真を再び撮るよう、勧めるとき、韓国語では「어머니 사진관에 오셨으니까 독사진 하나 찍으세요」(訳: 母さん、写真館にいらっしゃったから、独り写真を撮ってください)と言い切り表現になっている。日本語の対訳は「母さん、せっかくだから一人で撮ったら?」と言いさし表現を使っている。すなわち、韓国語では「撮ってください」まで述べられて言い切り表現になっているが、日本語では「撮ったら?」と言いさし表現になっている。

次に日本映画における対訳パターンと具体的な例は以下の通りである。

(1)「日本語音声の言いさし表現→韓国語字幕の言いさし表現」

10)タマコ先生: 相手がいないんだったら、誰か紹介してあげましょうか.

상대가 없다면 누구 소개해 드릴까요?

スギヤマ: いや、もしよろしかったら、タマコ先生と踊りたいんですけど.

아뇨, 괜찮으시다면 선생님과 추고 싶은데요.

(Shall We ダンス?)

スギヤマはダンスホールでダンスの先生であるタマコと出会う。タマコ先生と一緒に踊る人を紹介してあげると言われ、先生と一緒に踊りたいと言うとき、「いや、もしよろしかったら、タマコ先生と踊りたいんですけど」と言いさし表現を使っている。韓国語の対訳も「아뇨, 괜찮으시다면 선생님과

추고 싶은데요」(訳:いえ、よろしかったら、先生と踊りたいんですけど)と言
いさし表現になっている。

(2) 「日本語音声の言いさし表現→韓国語字幕の言い切り表現」

11)ウヅキ:サノさん、今日サークルに行けないんだけど。

사노, 나 오늘 서클에 못 가.

サノ:あら。

그래?

(四月物語)

ウヅキとサノは大学の同級生である。ウヅキはサノに今日はサークルに行
けない旨を「サノさん、今日サークルに行けないんだけど」と言いさし表現
を使って伝えている。韓国語の対訳は「사노, 나 오늘 서클에 못 가」(訳:
サノ、私、今日サークルに行けない)と言い切り表現になっている。

(3) 「日本語音声の言い切り表現→韓国語字幕の言いさし表現」

12)母:え、なんで?

왜요?

祖父:外、見てみる。

밖을 보라구.

(Love Letter)

娘が急に倒れたが、外は雪が降っていて救急車が来るまで1時間がかかる
状況であり、祖父はそのことに気づいている。気づいていない母に対して祖
父は「外、見てみる」と言い切り表現で要求している。韓国語の対訳は「밖을
보라구」(訳:外を見ろって)と言いさし表現になっている。

韓日映画において(1)「音声の言いさし表現がそのまま字幕でも言いさし表現に対訳
されるパターン」(2)「音声の言いさし表現が字幕では言い切り表現に対訳されるパ
ターン」(3)「音声では言い切り表現であるが、字幕では言いさし表現に対訳されるパ
ターン」が同様に見られた。対訳パターンは上記に示したものの他に「音声の言い切り
表現がそのまま字幕でも言い切り表現」になっているケースがあるが、本稿は言いさ

し表現の発話末の対応関係を探ることが目的であるため、言いさし表現が音声か字幕どちらかに含まれているケースのみを扱うことにする。

5.2 対訳パターンの出現頻度

韓日映画において各々の対訳パターンが出現した頻度数を次の表3に示す。

表3: 「述部有り」の対訳パターンの頻度

韓国映画	日本映画
(1)韓言いさし→日言いさし 20.50%(41回)	(2)日言いさし→韓言いさし 27.21%(83回)
(3)韓言いさし→日言い切り 41.00%(82回)	(4)日言いさし→韓言い切り 44.92%(137回)
* (5)韓言い切り→日言いさし 38.50%(77回)	* (6)日言い切り→韓言いさし 27.87%(85回)
合計:100%(200回)	合計:100%(305回)

%は各々の対訳パターンが出現した頻度数の割合である。

*の表示はカイ二乗検定において有意差が見られた場合である。p値>0.05

韓国映画における(1)「韓言いさし→日言いさし」のパターンは20.50%、日本映画における(2)「日言いさし→韓言いさし」のパターンは27.21%で、両者の間に統計上の有意差が見られなかった。また韓国映画における(3)「韓言いさし→日言い切り」のパターンは41.00%、日本映画における(4)「日言いさし→韓言い切り」のパターンは44.92%で両者の間に統計上の有意差が見られなかった。一方、韓国映画における(5)「韓言い切り→日言いさし」のパターンは38.50%、日本映画における(6)「日言い切り→韓言いさし」のパターンは27.87%で、統計上の有意差が見られた。すなわち「韓言い切り→日言いさし」のパターンの頻度が高く、「日言い切り→韓言いさし」のパターンの頻度が低い。

(1)(2)の対訳パターンと(3)(4)の対訳パターンは韓日映画においてその頻度がほぼ同様である。二つの対訳パターンの頻度面において韓日の言いさし表現が同様であることは、両言語において持つ意味も同様であることが考えられる。次に(5)「韓言い切り→日言いさし」のパターンの頻度が高く、(6)「日言い切り→韓言いさし」のパターン

の頻度が低いことは、同じ言いさし表現で述部があるものであっても、両言語において持つ意味が違うということが考えられる。ここで注目すべきことは音声の言い切り表現において、韓国語に比べ日本語では言いさし表現に訳出される頻度が高いことから、日本語では言いさし表現が好まれて使われている点である。このことは韓国人にははっきりと直裁的な言い方が好まれ、日本人には婉曲、間接的な言い方が好まれているという言語観(渡辺 1985:142)が反映されていると考えられる。

渡辺・鈴木(1981:101-101) と梅田(1977:267)では韓日の「述部有り」の言いさし表現「ーが」と「ー咄」で終わる発話を取り上げ、用法も類似しているという。本稿の検証の結果、「述部有り」の言いさし表現は韓日において三つの対訳パターンの中で二つの対訳パターンが同様に、一つの対訳パターンにおいては違うことから、韓日において持つ意味が違う言いさし表現も存在しているが、かなり類似している言いさし表現も存在していると言える。このことから両言語には「述部有り」の言いさし表現のように切り口上を避け、文末をにごす役割を持っているものが多く含まれていると考えられる。

6. まとめ及び今後の課題

先行研究では日本語の言いさし表現が韓国語、中国語、英語ではどのように対応しているのか、その対応の仕方について言いさし表現の一部しか取り上げられていないが、本稿では「述部有り」の言いさし表現全般について検証した。その結果、韓日において三つの対訳パターンの中で二つの対訳パターンがほぼ同様に、一つの対訳パターンにおいては違うことから、韓日において持つ意味が違う言いさし表現も存在しているが、先行知見の見解通りかなり類似している言いさし表現も存在していると言える。このことから両言語には「述部有り」の言いさし表現のように切り口上を避け、文末をにごす役割を持っているものが多く含まれていると考えられる。さらに韓国語に比べ、日本語では、言いさし表現の方が好んで使われている対訳パターンが見られたことから、韓国人にははっきりと直裁的な言い方が好まれ、日本人には婉曲、間接的な言い方が好まれているという言語観が反映されていると考えられる。今後の課題は「述部無し」の言いさし表現の対応の仕方を探り、韓日両言語における言いさし表現の特徴を明らかにしたい。

注

- (1) 字幕が省略されている発話、聞き取れない発話、発話末が方言であり判断できない場合は分析対象外とする。
- (2) 本稿における言いさし表現と言い切り表現は対照的なものである。松村(1990:17-18)では言い切りを「文構成の上で意味がもはや続かず、文の完結段階になることである」とされている。

参考文献

- (1) 生駒知子・志村明彦(1993)「英語から日本語へのプラグマティック・トランスファー; 『断わり』という発話行為について」『日本語教育』79号 pp.41-52
- (2) 岡崎眸・岡崎敏雄(2001)『日本語教育における学習の分析とデザインー言語習得過程の視点から見た日本語教育ー』凡人社
- (3) 尾上圭介(2001)『文法と意味』くろしお出版
- (4) 梅田博之(1977)「朝鮮語における敬語」『岩波講座 日本語4 敬語』岩波書店 pp.247-269
- (5) 柏崎秀子(1993)「話しかけ行動の談話分析ー依頼・要求表現の実際を中心にー」『日本語教育』79号 pp.53-63
- (6) 金田一春彦(1988)『岩波新書 日本語 下』岩波書店
- (7) 曹英南(2002)「韓日映画における言いさし表現の対照談話分析ー談話機能を中心としてー」『日本語文学』12号 韓国日本語文学会 pp.95-114
- (8) 松村明編(1990)『日本文法大辞典』明治書院
- (9) 水谷信子(1989)『日本語教育の内容と方法:構文の日英比較を中心に』アルク
- (10) _____(2001)『続 日米比較 話しことばの文法』くろしお出版
- (11) 渡辺吉鎔・鈴木孝夫(1981)『講談社 現代新書 朝鮮語のすすめ』講談社

ちょう よんなむ/韓国・全南大学 人文科学研究所 研究員

choyn7272@yahoo.co.jp

The contrast of the Korean and Japanese use of the ellipsis at the end of sentences through the movies' dialogue and subtitle : Based on the ellipsis at the end of sentences under "Existing-Verb-Clauses"

Cho Young-Nam

From Korean and Japanese movies with subtitles and the data about the ellipsis at the end of sentences through the movies' dialogue and subtitle, this study classifies the ellipsis at the end of sentences in Korean and Japanese by "Existing-Verb-Clauses", then examines how these cases effect the use of the ellipsis in the languages and describes the characteristics of the use of the ellipsis at the end of sentences.

The results suggest that two out of three patterns of translation show similar tendency in both languages. As the previous study, the results show that Korean and Japanese languages include the similar ellipsis at the end of sentences. The study also demonstrates the pattern of translation that Japanese is more used than Korean of the ellipsis at the end of sentences. The results reflect the viewpoint that Korean like the way of talking with "the casual nature" and "direct speech", and Japanese like the way of talking with "softness" and "indirect speech".

(Chonnam University)